



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月31日

上場会社名 南海電気鉄道株式会社
コード番号 9044 URL <https://www.nankai.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠北 光彦
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 坂本 早登司

TEL 06-6644-7145

四半期報告書提出予定日 2023年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	163,788	10.4	15,888	61.1	14,214	77.7	11,685	125.8
2022年3月期第3四半期	148,357		9,862		7,999		5,174	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 12,934百万円 (146.1%) 2022年3月期第3四半期 5,255百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	103.18	
2022年3月期第3四半期	45.68	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	918,216	270,652	28.1
2022年3月期	920,976	260,716	26.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 257,634百万円 2022年3月期 248,005百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		25.00	25.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	227,300	12.6	17,000	39.5	14,400	45.0	10,100	151.1	89.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	113,402,446 株	2022年3月期	113,402,446 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	173,175 株	2022年3月期	125,776 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	113,254,291 株	2022年3月期3Q	113,274,543 株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式報酬として株式交付信託が保有する当社株式が以下のとおり含まれております。

2023年3月期第3四半期:100,200株 2022年3月期:55,700株

また、役員向け株式報酬として株式交付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

2023年3月期第3四半期:76,600株 2022年3月期第3四半期:60,030株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、本日、当社ホームページに掲載するとともに、TDnetで開示しております。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、運輸業における輸送人員の増加や建設業における完成工事高の増加等により、営業収益は1,637億88百万円（前年同期比10.4%増）となり、営業利益は158億88百万円（前年同期比61.1%増）、経常利益は142億14百万円（前年同期比77.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は116億85百万円（前年同期比125.8%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

<運輸業>

運輸業は、鉄道事業やバス事業において前年同期と比べ輸送人員が増加したことや貨物運送業における増収等により、営業収益は706億21百万円（前年同期比15.2%増）となり、営業利益は2億95百万円（前年同期は営業損失51億12百万円）となりました。

<不動産業>

不動産業は、不動産販売業においてマンション販売が減少したこと等により、営業収益は325億68百万円（前年同期比0.8%減）となり、営業利益は98億37百万円（前年同期比0.0%減）となりました。

<流通業>

流通業は、ショッピングセンターの経営において前年同期に緊急事態宣言の発出に伴い商業施設（なんばパークス、なんばCITY等）を臨時休館したことの反動等により、営業収益は179億98百万円（前年同期比9.7%増）となり、営業利益は15億50百万円（前年同期比49.0%増）となりました。

<レジャー・サービス業>

レジャー・サービス業は、旅行業やボートレース施設賃貸業において新型コロナウイルス感染症の影響が前年同期と比べ縮小したこと等により、営業収益は282億70百万円（前年同期比3.6%増）となり、営業利益は28億80百万円（前年同期比4.8%増）となりました。

<建設業>

建設業は、完成工事高の増加等により、営業収益は307億66百万円（前年同期比11.6%増）となり、営業利益は12億25百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

<その他の事業>

その他の事業の営業収益は16億38百万円（前年同期比1.8%増）となり、営業損失は1億17百万円（前年同期は営業利益2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産の部では、連続立体交差化工事の進捗等による建設仮勘定の増加があったものの、減価償却の進捗や現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べ27億60百万円減少の9,182億16百万円となりました。

負債の部では、有利子負債残高や支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ126億96百万円減少の6,475億63百万円となりました。

純資産の部では、剰余金の配当による減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加があったこと等により、前連結会計年度末に比べ99億36百万円増加の2,706億52百万円となりました。

また、自己資本比率は前連結会計年度末比で1.2ポイント上昇し、28.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回発表時（2022年10月27日）から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,470	26,765
受取手形、売掛金及び契約資産	23,146	24,666
商品及び製品	12,864	16,018
仕掛品	723	1,309
原材料及び貯蔵品	2,936	3,035
その他	9,138	11,771
貸倒引当金	△133	△154
流動資産合計	85,147	83,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	361,661	350,990
土地	363,805	364,243
建設仮勘定	18,613	29,009
その他(純額)	33,007	30,362
有形固定資産合計	777,088	774,606
無形固定資産	10,284	9,666
投資その他の資産		
投資有価証券	34,536	36,338
退職給付に係る資産	2,248	2,379
その他	12,050	12,168
貸倒引当金	△378	△356
投資その他の資産合計	48,456	50,530
固定資産合計	835,829	834,803
資産合計	920,976	918,216

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,217	16,531
短期借入金	84,703	88,243
1年以内償還社債	—	10,000
未払法人税等	2,095	826
賞与引当金	2,607	748
その他	41,819	53,323
流動負債合計	150,442	169,674
固定負債		
社債	130,000	120,000
長期借入金	267,783	244,977
退職給付に係る負債	18,482	18,736
その他	93,551	94,174
固定負債合計	509,817	477,889
負債合計	660,260	647,563
純資産の部		
株主資本		
資本金	72,983	72,983
資本剰余金	28,139	28,138
利益剰余金	101,931	110,790
自己株式	△336	△466
株主資本合計	202,717	211,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,801	10,950
繰延ヘッジ損益	—	△0
土地再評価差額金	34,451	34,444
退職給付に係る調整累計額	1,034	793
その他の包括利益累計額合計	45,287	46,188
非支配株主持分	12,711	13,017
純資産合計	260,716	270,652
負債純資産合計	920,976	918,216

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業収益	148,357	163,788
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	133,515	142,913
販売費及び一般管理費	4,979	4,986
営業費合計	138,494	147,899
営業利益	9,862	15,888
営業外収益		
受取利息	13	15
受取配当金	763	977
雑収入	577	500
営業外収益合計	1,353	1,492
営業外費用		
支払利息	2,904	2,660
雑支出	312	506
営業外費用合計	3,216	3,167
経常利益	7,999	14,214
特別利益		
協力金収入	—	545
固定資産売却益	1	314
工事負担金等受入額	22,741	251
その他	1,323	223
特別利益合計	24,065	1,334
特別損失		
固定資産除却損	320	385
工事負担金等圧縮額	22,737	230
関係会社整理損	—	197
その他	1,163	169
特別損失合計	24,222	983
税金等調整前四半期純利益	7,842	14,565
法人税、住民税及び事業税	2,063	1,408
法人税等調整額	551	1,162
法人税等合計	2,614	2,571
四半期純利益	5,227	11,994
非支配株主に帰属する四半期純利益	53	308
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,174	11,685

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	5,227	11,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	263	1,192
繰延ヘッジ損益	△0	△0
退職給付に係る調整額	△235	△252
その他の包括利益合計	27	939
四半期包括利益	5,255	12,934
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,198	12,593
非支配株主に係る四半期包括利益	57	340

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
営業収益									
外部顧客への営業収益	60,492	31,819	16,022	18,821	21,029	172	148,357	—	148,357
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	834	1,024	387	8,459	6,540	1,436	18,682	△18,682	—
計	61,326	32,844	16,409	27,280	27,569	1,609	167,039	△18,682	148,357
セグメント利益 又は損失(△)	△5,112	9,838	1,040	2,749	1,139	2	9,657	205	9,862

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
営業収益									
外部顧客への営業収益	69,827	31,813	17,570	20,575	23,908	93	163,788	—	163,788
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	793	755	427	7,695	6,858	1,544	18,075	△18,075	—
計	70,621	32,568	17,998	28,270	30,766	1,638	181,864	△18,075	163,788
セグメント利益 又は損失(△)	295	9,837	1,550	2,880	1,225	△117	15,671	216	15,888

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。